

| | | | | | | |
|------|---------------------------------|----|---------|--------------|-------|--|
| No. | 15-5-8 | 場所 | 高森町 大島川 | 次世代への継承キーワード | 避難路確保 | |
| 名称 | ①大島川の氾濫で被災した竹村医院 ②竹村医院上流の大島川の氾濫 | | | 河川 | 大島川 | |
| 災害現象 | 洪水氾濫 | | | 支流 | | |
| 補足事項 | | | | | | |

高森町吉田地区では、大島川から押し出された土砂が出砂原集落を埋めた。巨岩を積み上げた長さ約 500mにわたる惣兵衛堤防は、200 年以上もこの地域を守ってきたが、竜の背のごとく盛り上がった天竜川は堤防を乗り越え、地上部のほとんどが押し流された。田沢川は鉄砲水により下流一帯が一面河原となり、11 名の犠牲者を出した。

●体験談：竹村外科医院関係者

<6月27日>手術は午後五時に開始された。(中略)どれ程の時間が経ったろうか突然停電した。手術は中断され看護婦は前後策に室外へ飛び出した。間もなく懐中電燈の灯りで手術は再開された。午後九時長い緊張から解放されると石の流れる音が不気味に耳に入ってきた。それ許りではなかった、数時間の間に木橋の橋桁はもぎ取られ裏側の断崖は次第に削られ川巾は意外に広がった。(中略)私は病院の裏側を偵察に懐中電燈も持たず地形を知ってる畑に歩いて行った。と突然足元で、「ドウ！」という音がした。フトのぞき込むと足元から一米足らずの処は既に川と境をなして、畑であるべき処は音を立てて流れる本流をなしていた。

(「災害の市田郷」p.43)

記 録



大島川の氾濫で大きな被害を受けた竹村医院（当時）とその上流付近。



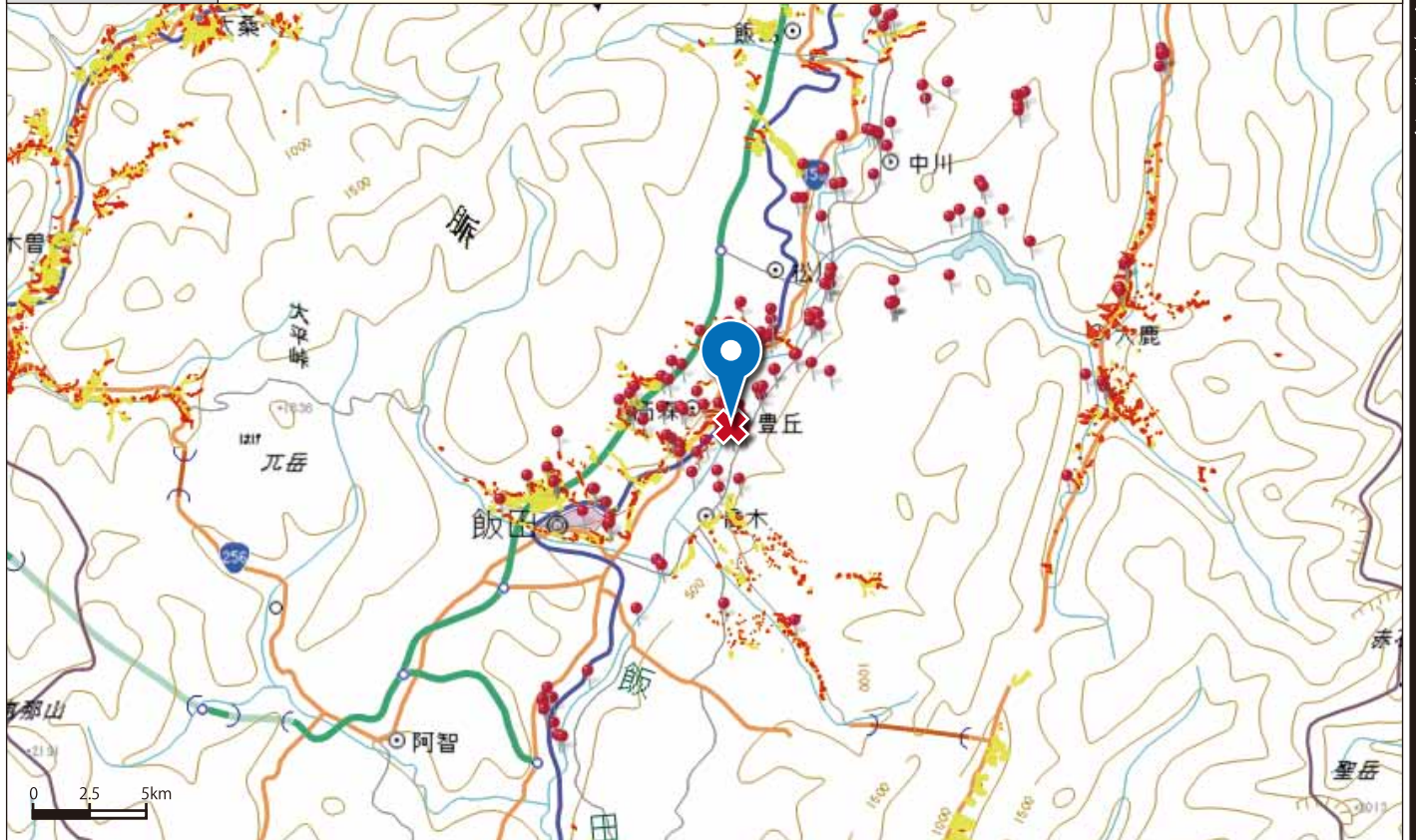
竹村医院の上流付近の大島川の氾濫

| | | |
|----|--|--|
| 出典 | 「36 災害 20 周年記念 災害の記録」p.30/「災害の市田郷」p.43 | |
| 備考 | 概要欄の< >は編者が補足説明したものです。 | |

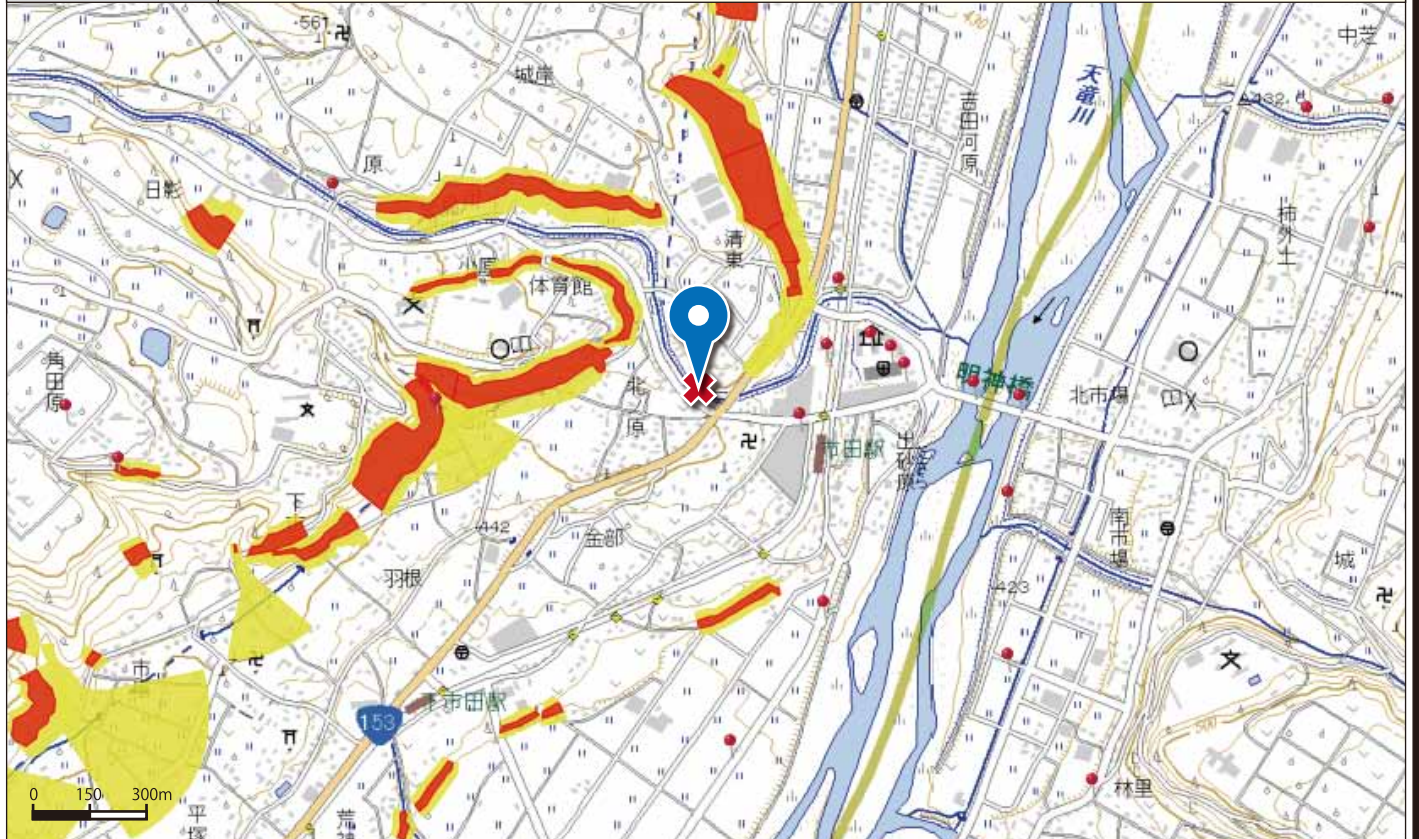
| | | | | | |
|-----|--------|----|---------|----|-----------|
| No. | 15-5-8 | 場所 | 高森町 大島川 | 緯度 | 35.550623 |
|-----|--------|----|---------|----|-----------|

| | | | | | |
|----|---------------------------------|--|--|----|------------|
| 名称 | ①大島川の氾濫で被災した竹村医院 ②竹村医院上流の大島川の氾濫 | | | 経度 | 137.883538 |
|----|---------------------------------|--|--|----|------------|

地図 広域図



地図 詳細図



備考 上記地図に表示されている、黄色の区域は「土砂災害警戒区域」（通称：イエローゾーン）といい、土砂災害のおそれがある区域を指します。また、赤色の区域は、「土砂災害特別警戒区域」（通称：レッドゾーン）といい、土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域を指します。